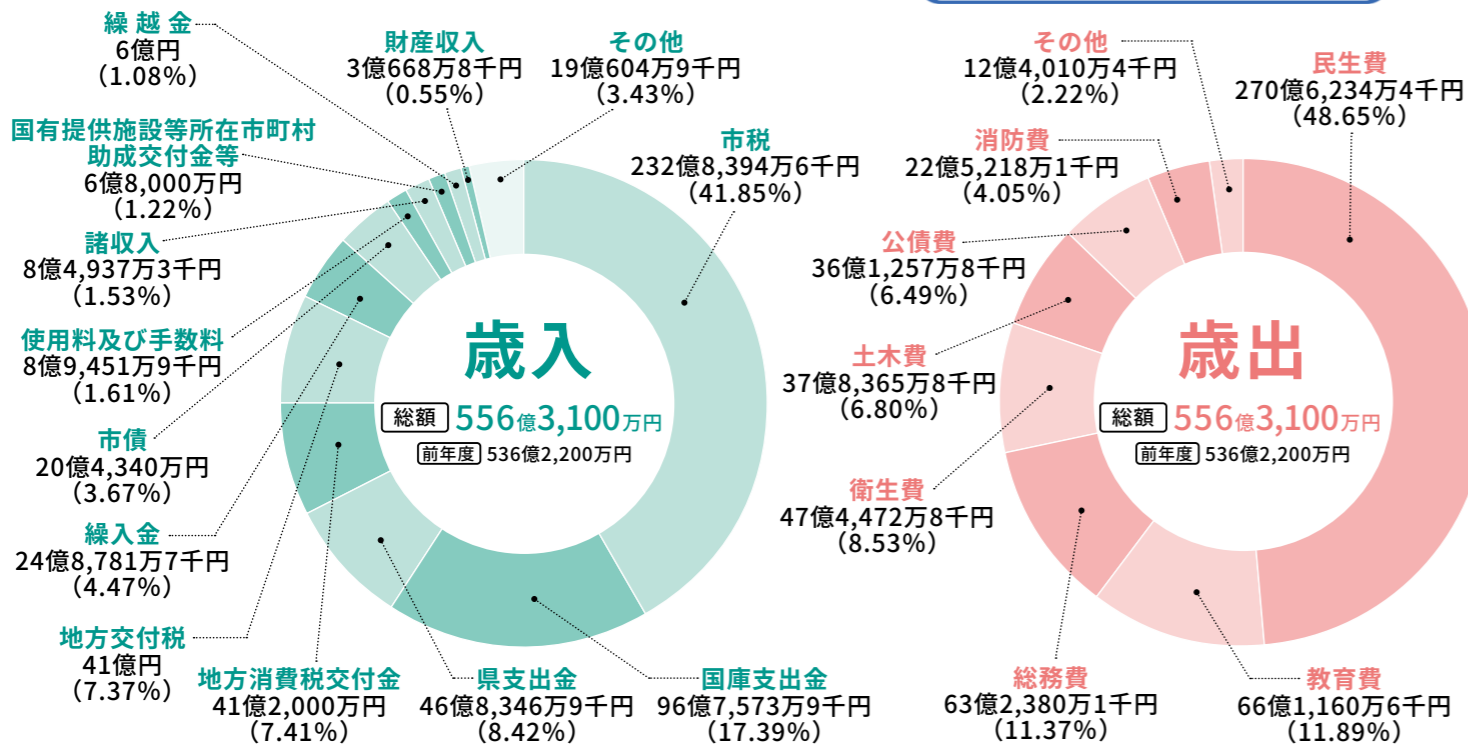


8年度

一般会計当初予算の概要

総額556億3,100万円

一般会計の予算総額は5年連続過去最大



歳入の4割以上を占める市税は、賃金の上昇に伴う個人市民税の増額や、家屋の新増改築分や償却資産分の増による固定資産税が増額となっており、国庫支出金は社会福祉関係経費の財源が増額となっています。

歳出の約5割を占める民生費は、社会福祉関係経費が増額しており、教育費は中学校体育館空調設備等整備事業費や給食センター管理事業費の増など、総務費は各種サーバーやシステムの更新に伴う情報システム管理事業費の増などによりそれぞれ増額となりました。一方で、土木費は入曽駅周辺整備事業費など、公債費は商工債償還元金や臨時財政対策債償還元金の減などによりそれぞれ減額となっています。

市民1人당に使われるお金…年間で約38万円 ※8年1月現在の人口147,477人を基準に算出

民生費 183,502円 こどもや高齢者、障害者などの福祉に要する経費	教育費 44,831円 学校教育や生涯学習に要する経費	総務費 42,880円 市有財産の管理や一般事務などに要する経費	衛生費 32,173円 保健衛生やごみ処理などに要する経費
土木費 25,656円 道路の建設や公園の整備などのまちづくり、市営住宅の管理に要する経費	公債費 24,496円 道路・施設を建設するための借入金の元金や、利子の返済に要する経費	消防費 15,271円 消防や災害対策に要する経費	その他 8,409円 市議会運営や農業振興などに要する経費

狭山市の予算と財政状況を公表します
 8年度の一般会計、特別会計の当初予算と7年度下半期の予算執行状況、財産や基金の状況を公表します。

期間 5月1日(金)～7月31日(金)
 場所 市役所1階情報公開コーナー、入曽地域交流センター、公民館、図書館
 ※休館・休所日は除く。市公式ホームページでもご覧いただけます

問合せ 財政課へ ☎2935-6633

令和8年度 市長施政方針・予算

令和8年第1回市議会定例会(会期2月20日～3月17日)で、小谷野市長が8年度の施政方針として、市政運営の基本的な考えや重点施策などを述べました。今月は、その概要をお知らせします。



第1回市議会定例会で施政方針を述べる小谷野市長

「施政方針の要約」
 我が国は今、大きな転換期を迎えています。経済はインフレへと転換し、雇用状況が改善し賃金も上がり始め、企業業績も回復傾向となり、国の税収も過去最大となっています。一方、インフレは多くの商品の高騰を招き、私たちの日常生活に深刻な影響を与えており、また、少子高齢化、インフラ施設の老朽化、自然災害の激甚化など多くの課題に直面しており、多岐にわたる課題に直面してまいります。しかし、このような社会が訪れようとする、皆さまの生活と暮らしを守っていくことが私たちの責任であり、今の世代と同様に次の世代が、引き続き豊かさを享受するためにも、立場を越えて、力を合わせ、狭山の未来を守らなければなりません。8年度の予算案は、このような認識のもと、市民の皆さまの期待に応えることを念頭に編成いたしました。

「物価高騰対策」では、国の交付金を活用し、昨年の第4回定例会において、市民1人当たり4千円の現金給付の実施を決定し、2月19日現在、対象世帯の79.3%に当たる5万8千119世帯に給付が完了しました。また、2カ月分の水道料金の基本料金の免除や、国からの公立小学校の学校給食費負担軽減措置に合わせ、公立中学校の学校給食費についても同様の支援を行う他、経済的理由によって就学困難な世帯に対し、学用品の購入費などを支援します。

「若い世代を伸ばそう」では、学童保育室において、柏原小学校区に民間学童保育室を誘致する他、学校の空き教室を利用する「タイムシェア型保育室制度」を活用し、保育体制を拡充してまいります。

教育の内容と支援の充実では、企業版ふるさと納税を活用して、中学生を姉妹都市へ派遣する「中学生国際交流事業」を実施し、海外体験を通じた国際感覚を育んでまいります。

教育環境の充実では、市内公立中学校体育館への空調設備の整備を進めるとともに、中央中学校と柏原中学校の校舎空調設備の更新工事や新狭山小学校の改修工事などに取り組み、安全で快適な教育環境を確保してまいります。

「まちと産業の進化を目標として」では、道路ネットワークの構築において、8年度末の狭山市駅加佐志線の事業区間の供用開始と入間川

入曽線の整備に向けて事業を推進してまいります。

茶業の振興では「第24回全国地紅茶サミット in SAYAMA」が開催されることから、和紅茶を含めた狭山茶の認知度向上に努めるとともに、狭山茶ブランドの確立と消費拡大を一層進めてまいります。

「人生100年時代を支える健康と安全を守る」では、健康づくり・保健予防の推進において、保健センターの老朽化対応と機能拡充を図るため、9年度にかけて改修工事を実施します。

社会保障制度の円滑な運営では、本年4月から国民健康保険税の税率などを改定し、国民健康保険の安定した財政運営を図ります。

住みよいまちづくりの推進では、空き家の除却費用の補助制度に加え、本年4月からは既存住宅の活用促進を目的とした「若い世代の住宅ストック循環促進補助金」を創設し、空き家の解消と土地利用の促進を図ってまいります。

安全で安定した上下水道では、県営水道と流域下水道維持管理負担金の改定に伴い、本年10月から上下水道料金を改定して経営基盤の強化を図ってまいります。

「みんなの力で未来につなごう」では、公共施設の管理において、奥富地区の公共施設のあり方を見直し、機能を複合化することによって、必要なサービスを持続的に提供

私たちが取り巻く情勢は大きく変わろうとしており、その影響は自治体の業務のみならず、地域社会を支えてきた仕組みにも及ぼすとしていますが、それらはいずれも大変なこと困難なこととして、私たちの前に現れます。

「人間万事塞翁が馬」このことわざのとおり、大きく変わるこの時をチャンスと捉え、将来の狭山市民に豊かな地域を引き継ぎ、持続可能な発展を遂げることができるよう、今年も力を合わせてまいります。皆さまのご理解とご協力を心からお願いし、本年も全力で市政運営に取り組んでまいります。

中国の故事に「人間万事塞翁が馬」という言葉があります。「人生の禍福は予測できず、災難が幸福に、不運が幸運に、またその逆もあることから、いたずらに一喜一憂することなく物事に対処すべし」という教えです。私が就任してから今日に至るまで、多くの困難に向き合ってきましたが、そういった困難に引き合い、自分たちが愛するまちを自ら良くしていくという気概と行動力をもった多くの方に出会えたことは私たちにあって幸運と呼べるものであります。

令和8年度に取り組む主な事業



第5次狭山市総合計画に掲げる4つの重点テーマに沿って、令和8年度に行う主な事業を紹介します。

① 若い世代を伸ばそう



まちの将来を担う主役は、狭山市発展の原動力となる「若い世代」です。

みんなで若い世代の活躍の場を広げながら、力を伸ばし、可能性を伸ばし、人数も伸ばし、人口減少時代でも活力あるまちづくりを進めます。

民間学童保育室支援事業費 **1億2,887万7千円**

公立学童保育室管理事業費 **5億3,583万4千円**

入室希望者の増加が見込まれる柏原小・広瀬小学校区を対象とした民間学童保育室の開室や、山王小学校にタイムシェア型学童保育室の設置、狭山台小学校に夏休み期間限定の学童保育室の設置など、待機児童の解消に向けて保育体制を拡充していきます。また、配慮が必要な児童の保育について、学童保育室支援員などが相談し助言を受けることができるように「学童保育室巡回アドバイザー派遣業務委託」を開始して保育の質の向上を図ります。

中学校文化・スポーツ活動支援事業費 **3,232万8千円**

将来にわたって文化・スポーツ活動の機会を確保・充実できる環境を構築するとともに、教員の働き方改革を進めていくために、8月から休日の部活動を地域展開します。



中学校校舎空調設備改修事業費 **4億1,812万3千円**

中学校体育館空調設備等整備事業費 **7億5,384万6千円**

老朽化した中学校校舎の空調設備の改修設計と改修工事を計画的に実施します。昨年度に引き続き中央中

学校について改修工事を実施するとともに、柏原中学校についても9年度にかけて工事を実施し、狭山台中学校は工事に向けて設計業務を実施します。また、中学校8校の体育館についても空調設備などの整備を実施します。

国際理解教育推進事業費 **1億124万2千円**

子どもたちが国際感覚を養い、幅広い視点を身に付けるために、語学指導にあたる会計年度任用職員などを任用する他、姉妹都市の大韓民国統営市へ中学生を派遣し、同市との国際交流事業を実施します。

② まちと産業の進化を目指そう



まちを支える基盤は「都市機能」と「産業」です。

みんなでまちに賑わいを創出し、産業を活性化しながら、まちと産業も社会に合わせてアップデートし、人と企業に選ばれるまちづくりを進めます。

狭山市駅加佐志線整備事業費 **1億4,870万円**

狭山市駅東口土地区画整理事業区域境から東京狭山線までの延長約930mの区間について、道路築造工事や安全施設設置工事などを実施します。

入間川入曽線整備事業費 **1億7,410万2千円**

市道幹第94号線の延長約300mの区間について、用地取得や物件補償、狭山中央通りとの交差点設計などを実施します。

狭山茶消費拡大振興事業費 **341万5千円**

狭山茶の生産・出荷の省力化や品質向上などを図るため、補助金を交付します。また、8年度に「第24回全国地紅茶サミット in SAYAMA」が市内で開催されることから、和紅茶なども含めた狭山茶のブランド確立や消費拡大を推進します。

③ 人生100年時代を支える健康と安全を守ろう



人生100年時代を支える土台となるのは「健康」と「安全」です。

みんなで支え合いながら、誰もが健康で活躍できる、また、安全で安心して暮らし続けることができるまちづくりを進めます。

クリーンエネルギー推進補助事業費 **1,750万円**

市民や事業者の地球温暖化防止への取り組みを促進するため、太陽光発電システムの設置や電気自動車の購入、温室効果ガス排出量の可視化ツール導入などに対して補助金を交付します。また、新たに集合住宅への宅配ボックス設置費用の一部に対する補助金の交付を開始します。



保健センター改修事業費 **3億3,058万5千円**

9年度にかけて、老朽化した保健センターの長寿命化に向けた中規模修繕を実施し、市民の健康増進拠点としての機能充実を図ります。

社会福祉事業費 **1,372万6千円**

空家等対策推進事業費 **1,600万1千円**

住宅取得に対する補助制度をリニューアルし、市内に居住する親世帯と同居か近居をするために、住宅を新築か購入、増改築する世帯に対する「狭山市親世帯安心同居・近居補助制度」と、築20年以上の住宅ストックを購入した若い世代に対する「狭山市若い世代の住宅ストック循環促進補助制度」を開始します。

災害応急対策事業費 **2,847万7千円**

避難所における生活環境の改善を図るため、暑さ対

策として冷感タオルや経口補水液などを新たに備蓄するとともに、指定避難所において避難者に適温食を提供することができる防災用の可搬型コンロを整備します。

④ みんなの力で未来につなごう



わがまち狭山が進む方向は、明るい希望が持てる「未来」です。

みんなで未来に視点を置きながら市政を運営し、不透明・不確実で変わり続ける社会情勢に対し、柔軟に対応するまちづくりを進めます。

公共建築物等再編統合事業費 **1,146万7千円**

老朽化する公共施設やインフラ施設の保全と再編などを計画的に行い、建て替えや改修などによる長期的な財政負担の軽減と平準化を図るため、10年度の「公共施設再編計画」の開始に向け、8～9年度にかけて計画を策定します。

物価高騰への対策事業

国の「物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金」を活用し、物価高騰の影響を受ける全ての市民や事業者を支援します。



すべての市民や事業者に対し、2カ月分の水道料金の基本料金を免除 **2億1,351万6千円**

公立中学校の給食について、物価高騰に伴う食材料費分を1人当たり月額5,200円(11カ月)の補助 **1億8,075万2千円**

小・中学生のこどもがいる家庭に就学にまつわる費用を支援 **1億403万1千円**